



2020(令和2)年度

2021. 3月 特別号

# 俣野っ子だより

藤沢市立俣野小学校

校長 東 麻子

## < 2020年度 学校づくりアンケート調査のまとめ >

今年度もよりよい学校づくりをめざして、1月に学校づくりアンケートを実施しました。アンケートの集計が終わりましたので、結果をお知らせします。

このアンケートは、学校運営や教育活動をふりかえり、改善の参考にするとともに、学校、地域、保護者の皆様との連携協力による開かれた学校づくりの推進に活用することを目的としています。

対象：児童・・・3年生と5年生の全児童

保護者・・・3年生と5年生の全保護者 と PTA代表

地域代表として・・・学校評議員

保護者アンケートにつきましては、児童と同じ学年の保護者に実施し、児童との相関関係を含めて分析しています。

評価項目は、今年度は昨年度とほぼ同じ内容で、経年での調査を鑑みしています。

評価基準については、「よくあてはまる◎」「だいたいあてはまる○」「あまりあてはまらない△」「まったくあてはまらない×」の4段階としています。

結果については、よくあてはまる◎とだいたいあてはまる○の割合を数値で掲載しています。

A. 3年生(65名)・5年生の保護者(54名)	3年◎・○	5年◎・○
(1) 学校は、教育方針を分かりやすく伝えている。	95%	96%
(2) 学校は、子どものことについての相談に応じている。	98%	98%
(3) 学校は、楽しく分かりやすい授業をめざしている。	98%	92%
(4) 学校は、児童の安全や防犯について取り組んでいる。	95%	96%
(5) 子どもは、学校が楽しいと言っている。	92%	90%
(6) 子どもは、給食の時間を楽しみにしている。	93%	96%
(7) 子どもは、学校の様子を話してくれる。	88%	84%
(8) あなたは、子どもの交友関係を知っている。	95%	92%
(9) あなたは、学校からの配布物に目を通してしている。	98%	92%
(10) あなたは、学校行事やPTA活動に参加するようにしている。	93%	82%

保護者のアンケートからは、「あまりあてはまらない△」の回答が若干増えているものの、「よくあてはまる◎」が両学年ともに増えており、本校の教育方針をよく理解し、学校を信頼して下さっていることが今年度もわかりました。保護者やPTAだけでなく地域の方々も学校の教育活動を支援して下さり、協力的な風土が培われています。

新型コロナウイルス感染症防止対策による長期の休校期間の影響か、これまでと生活が変化したことに伴い、子どもたちの様子に変化が見られます。朝の登校しぶりや不安を感じやすくなっている例もありました。ご家庭での様子について学校にご相談いただくのが少し時間が経過してからであったり、働きかけをしても、簡単に解決していなかったりする点が(2)や(5)の回答に現れていると思われます。

教職員は、子どもたちの健やかな成長を願い、学級担任だけでなく、学年や児童支援担当、スクールカウンセラーなどと連携し、複数で対応し、指導や支援体制の強化に引き続き努めています。

昨今、特に、急にご家庭の状況に変化が出ている場合もあるかと思えます。お子さまのことで、ご心配なことがありましたら、ご遠慮なくご相談ください。

(3)については、授業時間数が例年よりも少なくなったため、授業時間を確保しながら、学習指導を進めていることを保護者のみなさまは不安に思われていることと読み取りました。一方、子どもたちの(9)勉強の理解の項目では、◎◎の回答が3年生で9割以上、5年生で8割以上でした。学年が上がるにつれて、学習内容が難しくなるので、学校では、子どもたちの学習内容の定着に留意し、学力向上やわかりやすい授業を目指し、引き続き学習指導の工夫や授業研究に努めていきたいと思えます。

(4)安全や防犯については、◎◎の回答が3年生で5%、5年生で2%減少しました。校内での避難訓練は全校での行動を避けて、学級や学年で、動きや順路を確認する形で実施しました。保護者が来校しての引き取り訓練は実施できなかったため、次年度実施したいと考えています。

新型コロナウイルス感染症予防対策は、ガイドラインに則り、教育活動での安全を考え、やり方に工夫をして取り組むように努めています。朝の検温調査や昇降口での登校指導など校内での職員配置のため、校外の交通安全指導に出ることが難しくなっています。スクールガードリーダーさんやおはようボランティアさん、交通指導員さんや地域の防犯関係の方々、保護者のみなさんにご協力いただき、お世話になっています。

(6)給食に関しては、両学年ともに、◎◎の回答が昨年度よりもポイントを伸ばしています。休校中、給食のよさを改めて、感じられたと思えます。

(7)子どもとの話については、◎◎の回答は昨年と両学年とも変化がありませんでした。(8)子どもの交友関係については、5年生では、昨年よりも△のポイントが多くなっていました。発達段階の特徴で子どもたちがあまり話さなくなることや、携帯電話やSNSの使用が増え、直接子どもたちの人間関係やコミュニケーションの様子などが見えないことも影響しているのかもしれませんが。

児童の(13)「家で学校のことを話したり、聞いてもらったりする」の◎◎の回答では、3年生で12%、5年生で4%増と大幅に伸びています。休校中など、ご家庭での会話が増えたことも一因と考えられます。保護者と子どもたちの感覚の差が見られましたが、子どもにとっては、家庭での安心につながります。今後ともご家庭での子どもとの関わりを大切にしていれば、幸いです。

(9)「学校からの配布物に目を通すこと」は昨年に引き続き、◎◎の割合が伸びています。例年と異なる対応が多く、来校回数も限られた中、プリントなどでのお知らせが増えています。わかりにくいこともあるかと思えますが、保護者のみなさまがよく理解して、対応して下さることに日々助けられています。

(10)「学校行事やPTA活動への参加」についての◎◎の3年生保護者の回答で12%の伸びがありました。実際、学校やPTAの行事が少なくなったため、参加があまりできなかったと回答された方もいます。限られた機会でしたが、保護者のみなさまが積極的に参加して下さり、ありがとうございました。学校としましても、子どもたちの学校での姿や成長を保護者のみなさまに知っていただく機会を大切にしたいと考えています。保護者のみなさまが学校に来て下さるのを子どもたちはうれしく思っています。今後も状況が許せば、ぜひ積極的なご参加をお願いいたします。

2年前に3年生の保護者として回答いただいた内容と5年生保護者の回答を比較したところ、(1)(2)(6)(8)(9)(10)の◎◎の割合が上向いています。学校の教育方針などへの理解を深めていただいているのと同時に、子どもの成長による変化にどう対応していくか、保護者のみなさんが子どもたちとの向き合い方を日々考え、悩む時期にあることを感じました。

B. 児童3年(60名)・5年(51名)	3年◎・○	5年◎・○
(1) 先生や友だち、学校へ来た人にあいさつしています。	96.9%	98.1%
(2) 1, 2年生や、こまっている子に親切にしています。 (自分より下の学年の子や、こまっている子に親切にしています。)	95.3%	81.5%
(3) こまったときに、話を聞いてくれる友だちや先生がいます。 (こまったときに、相談できる友だちや先生がいます)	96.9%	87%
(4) 学校の目標を知っています。	81.3%	51.9%
(5) 休み時間は楽しいです。	98.4%	87%
(6) 給食の時間は、楽しみです。	96.9%	87%
(7) 友だちときょう力して、様々な活動をしています。	93.8%	85.2%
(8) 係の仕事を、進んでやっています。 (委員会活動に進んで取り組んでいます。)	98.4%	83.3%
(9) 学校の勉強はわかります。	93.8%	81.5%
(10) 勉強でわからないところは、先生や友だちに聞いています。	92.2%	88.9%
(11) 学校生活の中で、よいところをほめられたことがあります。	92.2%	77.8%
(12) 上の学年の人たちに、やさしくしてもらったり、助けてもらったりしたことがあります。 (学校生活の中で、6年生と協力して活動しています。)	92.2%	63%
(13) 家で学校の様子を話したり、聞いてもらったりしています。	96.9%	83.3%
(14) 学校からの手紙やテストなどのプリントを、家の人に見せています。	96.9%	72.2%

子どもたちにとって、今年度の学校生活はこれまでとはかなり違う点が多くありました。

行事の中止や全校での集会や活動、異学年交流などを十分にすることができませんでした。本校では、小規模の学校なので、人との関わりを大切に考えて教育活動を行っています。異学年交流などで、優しく接したり、助け合ったり、上級生の自覚や責任感を育てたりする機会を十分に作ることで、望ましい人間関係や思いやりの心も豊かにすることをねらっています。実際の活動が少なくなってしまうので、全体的に児童のアンケート項目の数値の増減が大きくなっている場合が見られました。

(1) あいさつについては、両学年とも昨年よりも◎○の割合が微増しています。「あいさつできる」「友だちを大切にする」という本校がめざす子ども像に迫るものです。この結果について、教職員は、高学年の子どもたちのあいさつや生活態度が大変よいことがなにより大きく影響している、と考えました。6年間の成長や学びの積み重ねが下級生のよきお手本となって、学校を支えていることは、大変うれしいことです。

(2) 「下級生や困っている人に親切にする」の5年生の◎○の回答では15%減ですが、3年生では、11%増でした。(3) 「困っているときに相談できる」(8) 「係の仕事(委員会活動)をすすんでやっている」の項目については、3年生では、昨年とほぼ同じ回答でしたが、5年生では、7%と18%の減となっています。また、(12) 「6年生と協力して活動している」の項目は18%減でした。委員会活動やクラブ活動など6年生との活動が少なかった影響が出ています。高学年として役割や動きなどモデルとなる6年生から学ぶ機会が少なかったのが残念です。実際、5年生は、高学年の落ち着きがあり、活動にも前向きに取り組んでいます。しかし、発達段階の特徴もあり、高学年では、自分のことを素直に表現しなくなる時期に入っていることがうかがえます。子どもたちの自己肯定感を支えたり、子どもたちの見取りをていねいにしながら指導していきたいと思えます。一方、3年生は「上の学年から優しくしてもらったり助けてもらった」の項目は◎○の回答が15%増でした。下級生は、上級生の優しさを感じ、受け止めています。

(4)「学校の目標を知っている」という項目についての◎○の回答は、3年生で5%、5年生では33%の大幅な減となりました。今年度も教育活動の方針や学校の目標を変えていません。「えがお」「あいさつ」「はじめ」「学びあい」花いっぱいの俣野小”みんな聞いたことがあるフレーズですが、目標であるとの認識が低くなっています。学校から発信する機会が少なかったことを反省します。学校がめざしていることをわかりやすく子どもたちに伝える工夫を今後していきたいと思います。

(6)「給食の時間」についての回答では、たくさん子どもたちが楽しみにしていますが、5年生では◎○の割合が5%減でした。食べ物の好き嫌い、偏食や食事の量が合わないなど、個人的に楽しみではない子どもが若干います。

学習面においては、(9)「学校の勉強」の◎○回答は、5年生は5%減、3年生は9%増でした。一方、(10)「わからないところは先生や友だちに聞きます」では、5年生が11%増、3年生は5%減の回答でした。5年生になると学習内容が難しくなるので、自分だけで学ぶのではなく学びあいの大切さも見えてきます。また、今年度は、両学年で、算数のTT(ティームティーチング)を取り入れているので、授業中にわからないところを聞きやすく学びやすい環境であると思います。指導の充実に努めていますが、基礎基本の定着をしっかりとすること、学習への意欲を育むことにも注意していきます。そして、授業時間に個別に児童の質問に応じる時間を確保し、質問がしやすくなるような雰囲気作りを引き続きしていきます。

(11)「学校生活でほめられている」の◎○の回答は3年生が6%増、5年生が4%減でした。自分を認め、自己肯定感や自信をつけることにつなげていけるように、ふだんから子どもたちへの声かけをしていきたいと思います。

(13)「学校からのプリントを家の人に見せる」について、◎○の回答が5年生では12%減、3年生は昨年ほぼ同じ割合でした。5年生では、プリントを持ち帰らない児童や、連絡袋自体を持っていない児童もいます。この機会にご確認いただき、連絡袋の準備をお願いします。学校からのお知らせが確実にご家庭に届くように、学校でも声かけをしていきますが、ご家庭でもご協力いただきますようお願いいたします。

5年生が2年前の3年生の時の回答と比較すると、(10)の◎○の回答が伸びていました。先生や友だちとの関係が深まっていること、学びあう雰囲気や環境が根づいていると考えます。

教職員のアンケートからは、年間指導計画の変更・調整や子どもたちの安全を考え、教育活動の検討を重ね、1年間取り組んできたこと、それぞれ、教職員で話し合いを重ね、協力して進めることができたこと、制約のある中で、子どもたちも目標に向けて、どの活動にも前向きに取り組む姿があり、「やってよかった」と思える結果を得たことなど、全体として肯定的に受けとめていることがわかりました。本来ならば、新学習指導要領の本実施への対応が優先される場所ですが、新型コロナウイルス感染症対策への対応が多くなってしまったのが現状です。次年度の教育活動の計画に今年度の経験を活かしていきたいと思います。

C. 学校関係者(学校評議員・PTA 役員代表 6名分)	◎	○
(1) 学校は、教育目標や方針、行事等の情報をわかりやすく伝えている。	100%	
(2) 学校は、児童の安全や防犯について取り組んでいる。	100%	
(3) 学校は、地域の特色や教育力を学習や行事に生かしている。	66.7%	33.3%
(4) 学校全体の雰囲気がよく、子どもたちは生き生きしている。	66.7%	33.3%
(5) 子どもたちは、挨拶ができ、礼儀正しい。	66.7%	33.3%
(6) 子どもたちは、やさしく親切だと感じる。	50%	50%
(7) 子どもたちは学習態度がよく、まじめに取り組んでいる。	50%	50%
(8) 子どもたちは、楽しく学校行事に参加している。	83.3%	16.7%
(9) 教職員たちは、子どもたちをよく理解してくれている。	66.7%	33.3%
(10) 家庭や地域でも、子どもの安全には協力して対応している。	66.7%	33.3%

学校関係者のアンケートでは、今年度もすべての項目で、「よくあてはまる◎」「だいたいあて

はまる〇」の回答をいただきました。

(1)(2)(8)については、昨年度よりも◎の数値の割合が顕著に高くなっています。アンケートの記述にもありましたが、学校評議員会や学校行事で来校いただく機会が少なくなり、学校や子どもたちの様子がわかりにくかったことが、(6)(7)の回答に表れていると思われます。

学校関係者評価委員会については、緊急事態宣言期間中となり、児童と保護者の学校づくりアンケートの集計・分析を書面で報告し、ご意見とアンケートの回答をいただく形をとりました。今号もって、学校関係者評価委員会のまとめとさせていただきます。

お寄せいただいたご意見などをご紹介します。

学校関係者評価委員より

・コロナ禍で学校を訪れる機会も少なく、アンケートの回答も曖昧な点がございしますが、雰囲気の良い感じしております。一日も早く、日常に戻ることを願ってやみません。

・コロナ禍の状況の中、学校・先生方の仕事量が増え、顔に出さず一生懸命されている姿を目にするたびに感謝の気持ちしかありません。子ども達のいじめやDVが増加傾向にあると報道されていますが、俣野っ子の実情は目では確認できませんが、どうでしょうか。次年度から鼓笛の継承がなくなり、運動会等この1年間の行事が縮小され、上級生から下級生に伝承する回数が減り、憧れる運動、知識など能力を発揮できず、向上心の低下につながるのか心配しております。子ども達、先生方からマスクの中の笑顔がもっともっと増えていくことを祈っております。

・支援を必要とする児童の対応や学校に不信感を持ってしまった保護者等、PTAとして、学校側へサポート的な役割ができないか、日々思っています。

・今年度は、コロナ禍の影響で行事などが充分に行われなかったにもかかわらず、子ども達は今できることをやり、満足しているようでした。教職員も初めての経験でしたが、しっかり子どもに接しているようでした。学習指導要領の変更により、教職員や子ども達の負担が増すのが心配です。いつまでも俣野の子ども達には笑顔でいてほしいです。

・子ども達は長期の休校期間があり、行事の多くは中止となり、先生方は、休校の対応や感染予防対策の仕事が増え、今までとは異なる1年でした。

10月授業参観の様子を校舎から見学したこと、全体が見えていいものですね。12月50周年記念式典 10年に1回の行事に参加できて光栄です。鼓笛隊が無くなることは驚きましたが・・・

元の学校生活に戻れるとよいと思いますが、子ども達の健康・安全を守ることが大事ですので、慎重であってよいと思います。

・コロナ対応で大変な1年を先生方、PTA、地域の連携でよく乗り切って下さったことに感謝申し上げます。まだまだ気が抜けない日々ですが、子どもたちのために、今後も先生方の笑顔で見守ってくださいますよう。

「学校づくりアンケート調査」のまとめは、分析・評価とも、とても丁寧で、今年学校に伺う機会が少なかった分も補って学校の様子を伝えてくださるレポートにもなっていました。

手づくりの教育が俣野小の魅力だと思います。新しい学習指導要領に振り回されることなく、これまで培ったものを大切に作る姿勢を先生方のお話から感じています。

3年間の評議員体験で印象に残ったことはいろいろありますが、子どもたちの楽しみである給食への配慮、合同音楽会その他行事の進行含め、子どもたちが主役であることが一貫して大切にされていること、あと、式の定番曲「ビリーブ」を私も一緒に歌えたこと！です。ありがとうございました。

今年も学校評議員会でお話しする中で、学校の状況をよく理解してくださり、子どもたちの様子や社会情勢、学校が抱える問題などを的確に捉えて、ご助言いただくことが多くありました。

6月見守りが必要であった時と10月や12月の子どもたちの様子や成長ぶり、コロナ禍での大人と子どもの心身の健康、学校運営の安全対策、ガイドライン、検温・消毒作業などによる小規模校の課題などをご理解いただいた上で、教職員の取り組みを認めて、温かいことばをくださることも、教職員の励みになっています。本校で大事にしていることについても共有できていることも、心強く感じています。ご意見の中にも、かかわりの大切さ、子どもたち同士の学びあいや異学年交流からよいモデルを学んだり、目指す姿を意識して活動することのよさを書いていただいています。

PTAでは、「ほめよう！しかろう！見守ろう！地域のたから 俣野っ子 Let's think! ～PTAをみなさんで考えましょう～」のスローガンのもと、本部の方々を中心に、子どもたちのために、よりよく学校と連携していくこと、支援の必要な児童の対応や保護者の疑問、困り感に寄り添い、信頼関係を高める役割を担うことを考えて、活動してくださっています。全体的に保護者のみなさんの来校機会も限られていたので、相互理解やコミュニケーションの不足が生じることも想定してのことと受け止めました。

新型コロナウイルス感染症対策が今後、どのように進んでいくのか、またその中で学校の活動はどのくらい制約が残るのか、まだ見えてきません。今年度の経験を踏まえて、次年度の教育活動の計画を始めます。ご指摘いただいたように、子どもたちの安全を第一に慎重に進めて参ります。今後ともみなさまのご理解ご協力をお願いいたします。

2020年度

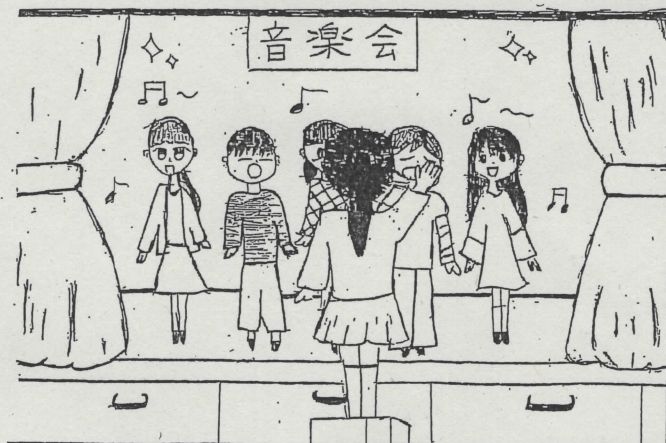
## 5・6年合同音楽会

♪ テーマ ひびけハーモニー  
～感動を届けよう～

♪ 日時 2021年 2月12日(金)

13:35～14:20

♪ 場所 俣野小学校 体育館



以上、学校づくりアンケートでみなさまからいただいたご意見から、2020年度の学校運営をふりかえりました。成果と課題を受け止め、今後の学校づくりの参考とさせていただきます。

### <学校教育目標> 心豊かにたくましく生きる俣野っ子を育む

#### <目指す子ども像>

- ・元気に遊ぶ子ども
- ・友だちを大切にする子ども
- ・生活にけじめのある子ども
- ・学年に応じた学力のある子ども
- ・「なぜ」を問い続ける子ども（問いを発する子ども）

～太字は重点目標～

～えがお あいさつ けじめ 学びあい 花いっぱい の俣野小～

ご協力ありがとうございました。

(この結果は、学校ホームページにも公開します。)